

シャトルボール

羽根付きの専用ボールをゴルフクラブで打ち、何回でホールの中に入ることができるかを競うゴルフゲーム。

☆ 難度★★ 人数:2人～



◎ 用具

- ◆ ゴルフクラブ（ピッチングウェッジ） 2本
- ◆ シャトルボール（羽根付きボール） 12個
- ◆ スイングマット（ゴルフ用人工芝）2枚
- ◆ セッティングホール 1個
- ◆ 台座 1個

◎ 場所

コートはゴルフのように、地形の起伏、池、林、バンカー、ウォーターハザードなどを加味して設定。公園やグラウンドでも可。

普通ウェッジコースの場合はショートホール（パー2、約16m～22m）、ミドルホール（パー3、約32m～45m）、ロングホール（パー4、約50m～60m）の3種類を組み合わせ1ラウンドを18ホール、パー54を目安に設置する。ただし、スペースに応じて何ホールでもかまわない。フェアウェイの幅は3m～6mを原則とする。

◎ 人数

1組4人以内の個人戦で、何組でも。

ゲームの進め方

- 1 打順はジャンケンなどで決め、スタートの第1打はスイングマットのティアップから始める。
- 2 第2打は以降、ホールから最も遠いボールの人からプレー（同距離の場合はジャンケンなどで決めます）する。このとき、拾い上げたシャトルボールは15cmの範囲内でホールに近寄らない方向の別の地点に置いて（プレース）打ってもよい。また羽根の向きを変えてプレーしても構わない。
- 3 何回かの打撃でホールインして、そのホールのプレーは終了するが、ホールインとは、ボールの羽根部分を除く球体の部分が、ホールの内側に停止したことをいう。判定はホールの真上から見下ろして行う。

※なお、ボールの識別や、他のプレイヤーの妨害とならないようにするためにボールを拾い上げる時は、マーカーを置いてから行う。動物などにボールを持ち去られたときは、そのボールのあった地点

に、別のボールを置いてプレーを続行する。

- 4 2ホール目以降のティショットは前のホールでスコアの最も少ないプレーヤーから始める。同じスコアの場合は、前のホールのティショットの順番に従う。
- 5 勝敗は全ホールの合計打数の少ないプレーヤーが勝ちとなる。

【ルール】

- ★ ボールを正しく打つ意思でクラブを振って、空振りした場合1ストロークと数える。ただし、クラブヘッドがボールに触れる前に何かの理由でスイングを中止したときはストロークしなかったものとみなす。
- ★ 押し出ししたり、かき寄せたり、すくい上げたときは、反則で、2打を付加する。
- ★ ストローク中に2回以上ボールに当たったときは合計2打として数える。
- ★ ボールがフェアウェイから出たときは、1打付加し、そのボールを最後にプレーした地点にできるだけ近いOB地点からストロークする。OBのラインが石灰やロープで表示されているとき、そのライン上はOB。
- ★ セカンドホールに入れた場合は、打ったショット数に1打を付加する。

【スイングマット使用について】

プレースとは、ボールを拾い上げ、ルールに従って別の地点に移すことを言う。(羽根の向きを変えてもよい。)プレースを次の方法で行えば反則とならない。

＜スイングマットを使う時＞

ボールの直後にマットを置き、ボールを拾い上げてマットの最前方に置く。

＜スイングマットを使わない時＞

すくい上げたボールをホールに近寄せない方向に15cm以内だけ置きかえることができるため、「もとあった地点」にマークしなくてもよいが、拾い上げると位置が不明になれる恐れがある場合は、マークして拾い上げる。

【エチケット】

- ★ プレーヤーは、ストロークを行う前に、近く(クラブが当たる可能性のあるところ)に人がいないことを確認してプレーする。
- ★ プレーヤーがストローク中は、他の人は動いたり話したりボールやホールの近くに立ったりしない。
- ★ プレーヤーは、前方の人がボールの置く範囲外に進むまで、プレーをしてはいけない。
- ★ プレーヤーは、ホールイン後、速やかにそのホールから離れる。
- ★ 使用するボールに自分の印を付けておき、スタート前に同伴プレーヤーと各自のボールを確認。